

- 問1 江戸時代後期、外国船の来航が増加したことで、幕府が国の守りを固めるために高めた意識を何という？
- 問2 大名が幕府から与えられ、年貢を徴収して統治した土地のことを何という？
- 問3 錦絵の技術を用いて、『富嶽三十六景』などの優れた風景画を描いた人物は誰？
- 問4 江戸時代、徳川吉宗が漢訳洋書の輸入制限を緩和したことで本格化した、オランダ語を通じて西洋の学術を研究する学問を何という？
- 問5 江戸時代に普及した、同じ耕地で一年の間に稲と麦などを交互に栽培する農法を何という？
- 問6 薩摩藩が中国への輸出で利益を得た、琉球王国経由の産品は何？
- 問7 江戸時代に発展した西洋の学問を指す言葉は何？
- 問8 江戸時代中期、深刻な財政難に陥った幕府の立て直しを図るために老中として政治を行った人物は誰？
- 問9 江戸幕府が許可した、当時の公認の海外貿易を何という？
- 問10 江戸時代、農具の改良や肥料の普及により高まった、単位面積あたりの収穫量を指す言葉を何という？
- 問11 江戸時代初期に、京都で「かぶき踊り」を始めて歌舞伎の起源となった人物は誰？
- 問12 歌川広重の浮世絵が、パリ万国博覧会を通じて西洋の画家に与えた芸術的影響を何という？
- 問13 江戸幕府が1639年に禁じ、南蛮貿易を終結させる決定打となった行為を何という？
- 問14 関ヶ原の戦い以前から徳川氏に従っていた大名を何という？
- 問15 1789年に採択され、国民の自由や平等などの基本的人権を普遍的なものとして明記した文書を何という？
- 問16 江戸時代、幕府や藩が財政を支えるために、農民から米として徴収した税を何という？
- 問17 江戸時代、朝鮮との外交や貿易の窓口を任されていた大名を何という？
- 問18 1792年にロシアの使節ラクスマンによって送り届けられた、ロシアへ漂流した日本人は誰？
- 問19 江戸時代、寛政の改革を主導した老中の名前は誰？
- 問20 徳川家光の時代、キリスト教の禁止を徹底するため1639年に来航を禁止した船を何という？
- 問21 1689年にイギリスで制定された、議会の同意なしに法を停止したり課税したりすることを禁じた法律を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 国防	国防とは、外部からの攻撃や脅威に対して国家を守る活動や態勢のことです。幕府は海防の必要性を認識し、沿岸の警備を強化したり、外国船の動向を調査したりする政策をとるようになりました。
問2	答え 支配	将軍から領地を預かる大名は、その地において行政官としての役割を果たしました。農民から年貢を取り立てるだけでなく、裁判を行ったり、領内の秩序を保ったりして、地域社会を「支配」しました。領主にとって、その土地の支配権を持つことは、武士としての権威と経済的基盤の両面で重要でした。
問3	答え 葛飾北斎	葛飾北斎は、錦絵の多色刷り技術を駆使し、大胆な構図で風景を描きました。特に『富嶽三十六景』などの連作は、富士山の多様な表情を捉えた芸術作品として、当時の庶民にも広く愛されました。
問4	答え 享保の改革	享保の改革は、米価の安定や目安箱の設置などが有名ですが、学問奨励の一環としてキリスト教に関係しない漢訳洋書の輸入を緩和しました。これにより、オランダ語を通じて西洋の知識を学ぶ蘭学が興りました。
問5	答え 二毛作	二毛作は、主に夏に稲を、秋から冬にかけて麦を育てることで、土地を休ませることなく効率的に利用する農法です。灌漑（かんがい）設備の整備や肥料の利用が進んだことで、より広い地域で可能となりました。また、収穫した作物を現金化する経済活動も活発化しました。
問6	答え 昆布	薩摩藩は、琉球王国を仲介役として清との貿易を行いました。特に北海道産の昆布などが琉球ルートを通じて中国へ輸出され、薩摩藩の莫大な利益となりました。また、奄美群島で生産された黒砂糖も藩の財政を支える重要な物産でした。
問7	答え 蘭学	オランダを通じて伝えられる医学、天文学、物理学、地理学などを学ぶ学問が蘭学です。杉田玄白らによる『解体新書』の翻訳を機に、日本の知識人の中で急速に関心が高まりました。
問8	答え 田沼意次	田沼意次は10代将軍徳川家治のもとで老中として権力を握りました。彼は年貢以外の財源を確保するため、商人の結びつきである株仲間営業を許可し、運上金や冥加金を徴収しました。また、長崎貿易を拡大して金銀の流出を抑え、輸出を促進するなど、積極的な商業重視政策を行いました。
問9	答え 朱印船貿易	朱印船貿易は、幕府から「朱印状」という渡航許可証を与えられた船が行う貿易です。東南アジアの各地へ渡り、銀や銅を輸出し、生糸や絹織物などを輸入しました。山田長政のような人物が活躍したのもこの仕組みが広がったことです。
問10	答え 農業生産性	農業生産性とは、農民が単位面積や一人当たりの労働力でどれだけ作物を生産できるかという効率性の指標です。江戸時代には、千歯こきなどの農具や干糞（ほしか）などの肥料が普及し、二毛作も一般化しました。その結果、限られた土地から多くの米や作物が収穫できるようになり、日本の人口は大きく増加しました。
問11	答え 出雲の阿国	出雲の阿国は、京都の北野天満宮などで当時の流行を取り入れた「かぶき踊り」を披露しました。阿国が演じる男装の姿や奇抜なパフォーマンスは、当時の人々に衝撃を与え、大流行しました。この芸がのちに組織化され、現在の歌舞伎の原型へと発展していきました。
問12	答え ジャポニスム	歌川広重や葛飾北斎らの浮世絵は、ゴッホやモネといった画家に強い刺激を与え、「ジャポニスム」と呼ばれる日本趣味のブームを巻き起こしました。特に広重の「名所江戸百景」などの大胆な切り取り方は、西洋美術の伝統的な技法に変化をもたらしました。
問13	答え ポルトガル船の来航	1637年の島原・天草一揆を経て、幕府はキリスト教を厳しく弾圧しました。その一環として、キリスト教を広めるポルトガル船の来航を禁止し、1639年に南蛮貿易を完全に終結させました。
問14	答え 譜代大名	譜代大名は、家康の古くからの家臣団であり、江戸幕府において老中などの重要な役職を独占しました。一方、関ヶ原の戦いで降に従った大名は「外様大名」と呼ばれ、重要な領地から遠ざけられるなど厳しい管理下に置かれました。
問15	答え フランス人権宣言	この宣言は「人間は生まれながらにして自由であり、権利において平等である」と定め、主権は国民にあることを明示しました。これは当時の封建的な社会制度を否定し、近代的な市民社会を作るための重要な指針となりました。
問16	答え 年貢	年貢は、収穫高に対する一定の割合で徴収される税です。「検地」によって確定された収穫高（石高）に基づいて計算されました。農民は重い年貢を納めるために自給自足に近い生活を強いられていました。
問17	答え 宗氏	対馬藩（現在の長崎県対馬市）を支配していた宗氏は、地理的に朝鮮に近かったため、徳川將軍の交代ごとに朝鮮通信使の受け入れや交易の交渉を代行しました。このため、幕府の外交において極めて重要な役割を果たしました。
問18	答え 大黒屋光太夫	大黒屋光太夫は伊勢の船乗りで、漂流の末にロシアへたどり着きました。ロシアで皇帝エカチェリーナ2世に謁見し、苦勞の末に帰国の許可を得て、使節ラクスマンに同行する形で1792年に根室へ帰還しました。その貴重な経験は、ロシアの状況を知る資料となりました。
問19	答え 松平定信	松平定信は朱子学を尊重し、非常に厳格な政治を行いました。江戸に流れ込んだ農民を農村に戻す「旧里帰農令」を出して、荒れた農村を立て直しを図りました。また、幕府の財政を立て直すために徹底した倹約を実施し、公衆道徳の向上も目指しました。
問20	答え ポルトガル船	布教とセットで日本に来航していたポルトガル商船は、幕府の警戒の対象となりました。1637年に島原の乱が起きたこともあり、1639年に幕府はポルトガル船の来航を完全に禁止しました。これにより鎖国体制が決定的なものとなりました。
問21	答え 権利の章典	議会の同意なしには国王による課税や法律の停止が認められないことが明確に記されました。これにより、国王の権力は議会の制定した法の下にあることが確定しました。